今日の緑丘　today’s Midorigaoka

伊達緑丘高校の一日を、お伝えします。

6月23日（月）　祝・全国大会出場－陸上競技部　6年連続全国出場－

先週、釧路市で開かれた全道大会（第66回北海道高等学校陸上競技選手権大会）において、本校陸上部の西谷公輔君（3年）が「円盤投」で4位入賞となり、昨年に引き続き、2年連続でインターハイ（全国大会）への出場権を手にしました。さらに「やり投げ」では同じく3年生の老久保望夢君が4位、初めての大会ながら1年生の黒田七海さんが「走り高跳び」で6位となり、計3名の生徒が、南関東で開かれる全国大会（インターハイ）に出場することとなりました。

初夏の長雨にぶつかり、大会中は晴れ間の少ない悪天候に見舞われたようですが、20名をこえる選手たちが全道という晴れの舞台で大いに活躍してきました。西谷君、老久保君、黒田さん3名のインターハイでのさらなる飛躍を期待し、今後ともご声援のほどよろしくお願いいたします。また、後輩部員のみなさんも、陸上部の連続インターハイ出場年数がさらに伸びていくよう、先輩たちの背中を追いかけてほしいと思います。今後とも応援よろしくお願いいたします。

インターハイ出場を決めた3名の選手のメッセージと、陸上部をまとめてきた主将・八嶋稔真君に大会を振り返ってもらった文章を掲載します。

＜全国大会に向けて＞

◆今回釧路で開かれた全道大会で全国大会への権利を勝ち取ることができました。ですが、結果は4位と悔しい思いをしました。力が足りなかったわけではなく、うまく力を出し切れませんでした。全国大会に向けては力がまだ足りないので、今からできることをやります。7月30日から行われる全国大会で、全道大会の借りを返して、去年の全国大会の悔しい思いのぶんまで、上位入賞をめざして山梨で投げてきます。応援よろしくお願いします。　　3年・西谷公輔君

◆今回、釧路の競技場で行われた全道大会に参加してきました。そこで全国大会出場の権利を獲得することができました。全国大会出場の権利は得られましたが、全道大会での結果には納得できていないので、全国大会までの1か月の間、しっかり調整し、インターハイの本番では3年間の汗と血と涙の努力の結晶を発揮できればと決意しています。みなさんの応援を力にかえて頑張ってきます。ご声援よろしくお願いします。　　3年・老久保望夢君

◆1年目からインターハイへの出場権を得ることができ、正直まだ夢のようです。不安も期待も半分ずつありますが、今までの練習してきたことを発揮し、自己ベストを跳んで笑顔で帰ってこられるようにしたいと思います。　　1年・黒田七海さん

＜全道大会を終えて＞　主将・八嶋稔真くん（3年）

僕は中学生の時から陸上競技を初めて、今年で6年目になりました。そして先日、最後の全道大会を釧路で終えてきました。6年間で培ってきた力を全力でぶつけることはできたと思います。僕が出場したリレーは準決勝で敗退してしまい悔しい思いもしましたが、一つの結果として受け止めています。僕は全道大会を終えて感じたことがあります。それは仲間の大切さです。仲間との日々の練習はとても楽しく、辛い練習も切磋琢磨して乗りこえることができました。仲間の支えなしでは3年間、部活を継続することはできなかったと思います。仲間と頑張れた3年間は私にとってとても大切な糧となると思います。そして、今まで身のまわりの世話や交通費をだしてくれた家族、3年間、選手のことを考え、指導してくださった先生方、ライバルとして競い合った他校の皆さんに深く感謝したいと思います。本当にありがとうございました。

クラスメイトによる祝福のメッセージです